2002 年 4 月 23 日第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 5 の日発行）
2023 年 7 月 26 日発行　ＳＳＫＷ　　増刊通巻第 6007 号

ＳＳＫＷ

あおぞら

第　４６　号
令和５年　８月

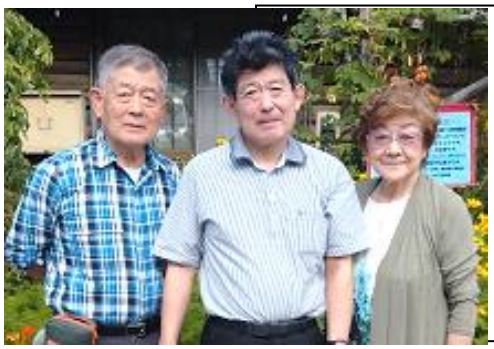
社会福祉法人　あおぞら共生会
川崎市川崎区京町 1－16－25
TEL･FAX　044-328-7363
編集責任者　　明　石　邦　彦
E-mail sfn-aozora.126@minos.ocn.ne.jp
http://www.aozora-kyouseikai.com/

新理事長挨拶　「あおぞら共生会」のＤＮＡを継承する　　明石洋子

この度、法人設立から２３年間理事長であった明石邦彦氏の後を次いで、理事長になった明石洋子です。「あおぞら共生会」の歴史を受け継ぎ、更に発展させ、次世代にバトンタッチできるよう、頑張ります。

我が家の長男徹之（知的障害を持つ自閉症）が３才の時、「幸地域訓練会」の会長になった時から、知的・発達障害のある子ども（そして大人）の「地域で当たり前に生きる」運動を始めて、もう４７年（徹之５０才）。下記の図のように、「社会への自立」を目標に子育てしてきました。現在、福祉施策も１８０度転換し「地域」が主流になって嬉しく思っております。（↓図１「地域に生きる」）

2002 年 4 月 23 日第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 5 の日発行）
2023 年 7 月 26 日発行　ＳＳＫＷ　　増刊通巻第 6007 号



（↑山梨ペンションすずらん昆虫館の前に）

あおぞら

明 石 通 信

発行責任者　明　石　洋　子

2023 年(令和 5 年)　8月25日発行

（３０年勤続の表彰状↓）

表彰状

明石徹之様

あなたは三十年以上本市職員として職務に精励し市政の向上に尽力され その功労はまことに多大でありますので表彰します

令和五年七月一日

川崎市長　福田紀彦

皆様お元気でしょうか。今年も熱中症警戒アラート発令の猛暑日が続いております。また線状降水帯や台風での豪雨（雷も）で日本各地被害に見舞われていますが、皆様の地域は大丈夫でしょうか？

コロナも４年目になり、第２類から５類になって、新規感染者数の発表がなくなり、警戒感が薄れました。マスクの着脱も自由になり、経済活動が解禁され、外出や移動、会食や観劇なども可能になって、閉塞感からやっと抜け出せます。

私は８月５日から 14 日の１０日間で（台風６号と７号到来の中）、山梨県、愛媛県、兵庫県と移動し、ちょっと疲れましたが、元気です。コロナ感染はまだ歯止めがきかない現状ですが、我が家３人（邦彦・洋子・徹之）はワクチン６回目接種済み。常時マスクをし、うがい手洗い、自宅に検査キットを備え、予防に務めながら、活動しております。

（餌づくり↑↓）

35 度を超える猛暑の中、徹之は汗びっしょりの日々で、作業着２組（昼も着替え）、帰宅時の洋服１組の計３組の着替えを用意し、また脱水症状にならないよう、氷をたっぷり入れた、ローヤルゼリーや朝鮮ニンジンなど入った「リンゴ酢」を持参しております。毎日休まず通勤していますが、８月には夏季休暇を取りましょう。しかし、有給休暇 40 日（及びリフレッシュ休暇５日）は手付かずで残っております。毎日７時５分に「お仕事がんばります」と言って、元気に出勤。この度、勤続 30 年の表彰状を福田川崎市長からいただきました。30 年前、初の知的障害を持つ自閉症の公務員（正規の試験で）の誕生でしたが、就労継続３０年も、たぶん前例がないのではないでしょうか？

この夏、午前中は公園の清掃や雑草取りの外仕事ですが、午後からは室内作業（餌つくり）に変更になっています。写真は笹の葉を枝から切り取る作業をしているところです。葉だけをミキサーで粉にして、咀嚼が難しくなった高齢のレッサーパンダの餌を作っています。午後は室内作業にしてくださる職場のご配慮が嬉しいです。環境整備（合理的配慮）、まさに「医学モデルより、社会モデル」を実践していただいて、感謝です。